

相談者へ

相談カードの作成について

この「相談カード」は、多重債務に苦しむあなたの現状を把握し、あなたにとって最善の債務整理の方法を判断するために必要な資料です。

また、あなたが「相談カード」をあらかじめ作成し相談に臨むことで、より効率的な相談を行うことができます。

あなたが今抱えている問題を解決するための一歩として、分かる範囲で記載してください。記載方法等で不明な点があれば、遠慮なく窓口におたずねください。

《借金問題は必ず解決できます！》

問い合わせ先（担当課）

相馬市役所 生活環境課 市民生活係
電話：37-2144（直通）

債務整理の方法について

	任意整理	特定調停	個人再生	自己破産
概 要	当事者間の話し合いにより、支払金額、支払期間等について新たに約定する方法です。 個人が行うことも可能ですが、弁護士又は認定司法書士に依頼して行う場合もあります。	簡易裁判所の調停委員の斡旋により、支払金額、支払期間等について新たに約定する方法です。 過払金の返還を求める場合は、別途訴訟を提起する必要があります。	地方裁判所が認可した再生計画に基づき債務を返済する方法です。 再生計画は、全債権者に対する債務の一部を原則3～5年で返済する内容となり、残りの債務は免除されます。	全財産を債務の返済に充てても返しきれなくなった場合に、地方裁判所を通じ債務の支払いを免責してもらう方法です。
適している事例	借金総額が比較的少額である場合 引き直し計算により、借金の減額が見込まれる場合	借金の相手である貸金業者の数が少ない場合 引き直し計算により、借金の減額が見込まれる場合	借金の相手である貸金業者の数が多い場合 相談者が給与等の定期的な収入を得ている場合 住宅ローンがあり、住宅を手放したくない場合	返済の見込みがない場合
メリッ ト	受任通知により取り立てが止まる 当事者間の話し合いにより、柔軟な返済計画が組むことができる 引き直し計算により、借金の減額が可能	申立のあった旨の通知により取り立てが止まる 調停委員による公平な結論が期待できる 返済計画に強制力があり、給与の差押え等も止められる 法律の専門家に依頼しないので、費用が安い	受任通知により取り立てが止まる 話し合いによる解決が難しい場合でも債務整理が可能 住宅ローン特別条項により、住宅を失わずに債務整理をすることも可能（住宅ローン以外の抵当権が設定されている場合など、この特別条項が利用できない場合もあります）	受任通知により取り立てが止まる 免責が許可されれば、早期に借金から解放される 給与の差押え等を止められる
デメリッ ト	事故情報に登録される恐れがある 話し合いに応じない貸金業者に対する強制力がない	事故情報に登録される恐れがある 借金しているすべての貸金業者から同意を得る必要がある 返済計画に強制力があるため、返済が滞ると直ちに給与等を差し押さえられてしまう	事故情報に登録される恐れがある 利用できる者に制限がある 手続きが複雑なため、費用と時間がかかる	事故情報に登録される恐れがある 最低限の生活資材を除き、住宅等の財産を失う 破産原因によっては免責されない場合もある 官報に氏名、住所が掲載され、ヤミ金の標的にされる 免責が許可されるまでの間、一定の職業に就けない制限がある

別記様式（第4条関係）

< 多重債務相談カード >

相談者（借入の当事者）	フリガナ	性別		生年月日		年齢		
	氏名	男・女	大・昭・平	年	月	日	歳	
	自宅住所	〒 (持ち家・借家・親族の家)						
	電話	携帯電話						
	職業	勤続年数	年	平均月収(手取)	万円	ボーナス(手取:年間)	万円	
	勤務先名称	勤務先住所・連絡先		TEL ()				
来訪者	相談者本人・本人以外		(本人以外の場合 家族(続柄:) その他())					
		本人が来られない事情:						
家族構成								
氏名	続柄	年齢	職業	平均月収(手取)	ボーナス(手取:年間)	その他収入(年間)	住まい(相談者との同居の有無)	備考
		歳		万円	万円	万円	同居・別居	
		歳		万円	万円	万円	同居・別居	
		歳		万円	万円	万円	同居・別居	
		歳		万円	万円	万円	同居・別居	
		歳		万円	万円	万円	同居・別居	
		歳		万円	万円	万円	同居・別居	
			収入合計	万円	万円	万円		
1月の生活費								
家賃又は住宅ローン	円	電話代(携帯含)その他の通信費	円	被服費	円			
食費	円	光熱水費(電気・ガス・水道)	円	その他	円			
交通費	円	ガソリン代	円		円			
教育費	円	車ローン	円		円			
医療費	円	家族名義のローン	円		円			
保険料	円	家族・本人の小遣い	円	1月の生活費合計	円			
最初に借入をしたときの経緯など								
最初の借入先の業者名		最初の借入時期	年 月 頃	最初の借入の理由				
これまでに多額の借入をした理由		毎月の支払可能額		円				
現在、借入の全額を支払えないと思う理由		毎月の返済額(請求額) 表の合計		円				
その他、特別の事情があれば書いてください。		希望の手続	1.任意整理 2.特定調停 3.民事再生 4.破産					

*この個人情報、解決に必要な場合、法律家などに提供することがあります。

過去の債務整理の有無			
有 無	有の場合：() 年前 債務総額 () 万円	債務整理の方法	任意整理・特定調停・個人再生・自己破産
備考			

債務整理のための費用の有無	
有 無	本人が用意できる額：() 円、他からの援助を受けられる額：() 円
備考	

所有資産の有無	
有 無	土地 ・ 家屋 ・ 車 () 年式 ・ 生命保険 ・ 退職金 (無・有 万円)
備考	

債務一覧表(別紙参照)	
公租公課等の滞納の有無	

有 無					
番号	滞納費目	滞納額	滞納期間	強制執行の有無	備考
1					
2					
3					
4					
5					

相談員の助言			
紹介先			
紹介先機関名		連絡先・担当者	

相談員氏名		受付年月日	平成 年 月 日 ()	整理番号	
他部署に情報共有した場合には当該部署・担当者名		担当部署：	担当者名：		

*この個人情報は、解決に必要な場合、法律家などに提供することがあります。

債務一覧表(別紙)						相談者名				
番号	債権者名	所在地及び電話番号	当初借入日及び当初借入額(約)	借入金利	最終借入日及び借入総額(約)	現在の借入残高(約)	最終返済日	保証人の有無(有の場合は氏名)	用途、購入品	毎月の約定返済額
	支店名									
1			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
2			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
3			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
4			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
5			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
6			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
7			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
8			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
9			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
10			年 月	%	年 月	円	年 月	有・無		円
		電話番号	円		円					
合 計					円	円	合 計			円

*この個人情報は、解決に必要な場合、法律家などに提供することがあります。